

国交省公共事業費関係予算原案

昨年並みの51,787億円

2016年度政府予算閣議決定

国交省は、2016年度予算編成を行うに当たって、次のようなポイントを挙げています。

- 公共事業関係費を前年度同水準としつつ、局地豪雨等を踏まえ、防災・減災対策の充実、既存インフラの老朽化対策の計画的な推進、民間投資の誘発や経済活性化につながるインフラ整備への重点化等を推進。
- 尖閣諸島周辺海域等における対応能力を強化するための戦略的海上保安体制の構築、東日本大震災からの復旧・復興の着実な推進など、我が国を取り巻く各種の課題にも適切に対応。
- また、訪日外国人の急増により2000万人の目標達成が視野に入っている中、次の時代の新たな目標に向けて、新たな環境整備や地方への誘客を加速し、訪日外国人の更なる増加を図るため、観光庁予算を大幅に充実。
- 具体的には、国交省関係の公共事業費は、昨年並みの51,787億円、前年度との増減率は0%とされています。

12月24日、2016年度政府予算案が閣議決定されました。国交省の公共事業関係予算は、昨年並みとなっています。その内容は、直轄の道路や河川管理施設の維持管理費が増加しているものの、相も変わらず大規模事業費も増加しています。また、予算定員については、ユニオンニュース256号で指摘したとおり、昨年を上回る定割となっています。

平成28年度公共事業費関係予算の比較 単位:億円

	平成27年度	平成28年度	増減額	増減率%	
公共事業費関係	59,711	59,737	26	0	
復興特別会計	9,902	9,028	▲874	▲8.8	
国交省関係	57,887	57,767	▲120	▲0.2	
	公共事業費関係	51,767	51,787	20	0
	非公共予算	6,121	5,980	▲141	▲2.3



そして、ポイントの一つとなった、老朽化対策については、河川管理施設等につき、長寿命化計画に基づく適切な維持管理を行い、中期の維持管理を縮減・更新に係るコストの削減・平準化を図るとともに、今後約10年間で直轄国道における橋梁・トンネルの要修繕箇所を解消を目指す等、計画的・効率的な老朽化対策を推進するとして、

【道路の老朽化対策などの戦略的維持管理】
2,965億円↓3,202億円(+8.0%)
【河川管理施設等の戦略的維持管理・更新の充実・強化】
1,792億円↓1,859億円(+6.7%)
の増額予算となっています。

2016年度予算定員は242名の減 国交省全体の定割数の大半を地整で負担!

国土交通省の定員要求と決定数の変化

	増員要求			決定		
	要求総数	定員合理化数	差し引き	新規増員数	定員合理化数	差し引き
平成24年度	1,351	1,193	158	783	1242	-459
平成25年度	1,132	1,193	-61	727	1330	-603
平成26年度	1,436	1,061	375	694	1,106	-412
平成27年度	1,498	1,245	253	1,020	1,259	-239
平成28年度	1,555	1,284	271	1,047	1,289	-242

一方、予算定員については、昨年の239名を上回る242名の削減数になっています。ユニオンニュース256号で指摘したとおり、その結果になっています。

さらに、今年度は定割数239名を上回ること、地整で行われたことを考えれば、来年の地整の定割数は今年と同様の20名を超える定割が押しつけられていく可能性が、あります。

各地整の実態は、これ以上職員は減らせない状況にあります。職場の切実な「増員を」との声を当局は、誠実に対応してほしいものです。